



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

平成29年8月1日

上場会社名 参天製薬株式会社

上場取引所 東

コード番号 4536 URL <http://www.santen.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 黒川 明

問合せ先責任者 (役職名) コーポレート・コミュニケーショングループ グループマネージャー (氏名) クリストファー・ホフマン TEL 06-4802-9360

四半期報告書提出予定日 平成29年8月4日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

コアベース

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		コア営業利益		コア四半期利益		親会社の所有者に 帰属する コア四半期利益		基本的1株当たり コア四半期利益		希薄化後1株当たり コア四半期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	55,949	11.9	13,698	10.9	9,991	14.0	9,996	14.1	24.61		24.52	
29年3月期第1四半期	50,006	4.2	12,353	1.2	8,762	6.8	8,762	6.8	21.15		21.07	

IFRS（フル）ベース

	売上収益		営業利益		税引前四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	55,949	11.9	12,056	11.5	12,209	19.1	8,915	21.7	8,920	21.8	12,022	645.2
29年3月期第1四半期	50,006	4.2	10,811	0.1	10,253	△8.7	7,323	△2.9	7,323	△2.9	1,613	△82.9

	基本的1株当たり 四半期利益		希薄化後1株当たり 四半期利益	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	21.96		21.88	
29年3月期第1四半期	17.68		17.61	

(2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に 帰属する持分		親会社所有者 帰属持分比率		1株当たり親会社 所有者帰属持分	
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	%	%	円 銭	円 銭	
30年3月期第1四半期	325,577		260,636		259,805	79.8		639.62		
29年3月期	322,778		253,884		253,065	78.4		623.06		

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	-	13.00	-	13.00	26.00
30年3月期	-				
30年3月期（予想）		13.00	-	13.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

コアベース

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		コア営業利益		コア当期利益		親会社の所有者に 帰属するコア当期利益		基本的1株当たり コア当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
通期	218,000	9.5	44,000	10.9	31,200	8.8	31,400	9.4	77.31	

IFRS（フル）ベース

	売上収益		営業利益		税引前当期利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
通期	218,000	9.5	37,400	15.2	37,700	18.5	26,800	16.2	26,900	16.6	66.23	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

IFRS（フル）ベースの数値からコアベースの数値への調整内容は、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (1) 経営成績に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期1Q	406,190,015株	29年3月期	406,173,015株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	6,811株	29年3月期	6,646株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期1Q	406,176,961株	29年3月期1Q	414,192,576株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいています。実際の業績は、事業環境変化、新薬の承認時期、為替レート変動、医薬品行政の動向など様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があります。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法）

当社は、平成29年8月1日（火）に証券アナリスト、機関投資家向けの第1四半期決算カンファレンスコールを開催する予定です。この説明会で使用する資料は、開催後当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	6
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	6
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 要約四半期連結純損益及びその他の包括利益計算書	7
(2) 要約四半期連結財政状態計算書	8
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	10
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報)	13
(重要な後発事象)	13
3. 連結参考資料	14
(1) 主要製品売上収益	14
(2) 医薬品開発状況	15
(3) 設備投資、減価償却費及び償却費、製品に係る無形資産償却費ならびに研究開発費	17

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 当第1四半期連結累計期間の業績の状況

(ア) コアベース（※）

（単位：百万円）

	前第1四半期	当第1四半期	対前年同期増減率
売上収益	50,006	55,949	11.9%
コア営業利益	12,353	13,698	10.9%
コア四半期利益	8,762	9,991	14.0%
親会社の所有者に帰属する コア四半期利益	8,762	9,996	14.1%

[売上収益]

前年同期と比べ11.9%増加し、559億円となりました。

主力の国内医療用医薬品事業において継続的に伸長するとともに、海外事業においてもEMEA（ヨーロッパ、中東およびアフリカ）・アジアで当社製品は順調に市場浸透し、高い成長率を維持しています。事業別の状況は次のとおりです。

（単位：百万円）

	国内		海外		合計	
	金額	対前年同期増減率	金額	対前年同期増減率	金額	対前年同期増減率
医薬品事業	38,956	7.8%	16,264	24.0%	55,220	12.1%
医療用医薬品	35,038	5.5%	16,202	23.8%	51,241	10.7%
うち眼科薬	34,870	5.5%	16,054	26.8%	50,923	11.4%
うちその他医薬品	169	16.2%	148	△64.9%	317	△44.2%
一般用医薬品	3,918	33.1%	62	154.1%	3,980	34.1%
その他の事業	719	1.5%	9	△76.3%	728	△2.7%
医療機器	603	△1.7%	5	△13.4%	608	△1.8%
その他	116	22.1%	5	△86.8%	120	△6.8%
合計	39,675	7.7%	16,274	23.7%	55,949	11.9%

（注） 各セグメントの売上収益は、外部顧客に対する売上収益を表しています。

(医薬品事業)

<医療用医薬品>

◇国内

前年同期と比べ5.5%増加し、350億円となりました。各疾患領域の主力製品の売上推移は次のとおりです。

- ・緑内障・高眼圧症治療剤領域
 - 「タプロス点眼液」 25億円（対前年同期増減率 + 0.0%）
 - 「タプコム配合点眼液」 6億円（対前年同期増減率 +15.4%）
 - 「コソプト配合点眼液」 30億円（対前年同期増減率 △ 1.6%）
- ・角結膜疾患治療剤領域
 - 「ヒアレイン点眼液」 30億円（対前年同期増減率 △ 8.4%）
 - 「ジクアス点眼液」 32億円（対前年同期増減率 +18.8%）
- ・抗アレルギー点眼剤領域
 - 「アレジオン点眼液」 27億円（対前年同期増減率 +31.1%）
- ・網膜疾患治療剤領域
 - 「アイリーア硝子体内注射液」 131億円（対前年同期増減率 +10.2%）

◇海外

ヨーロッパ

円換算ベースで前年同期と比べ29.7%増加し、87億円となりました。

医薬情報提供などの普及促進活動に注力し、緑内障・高眼圧症治療剤「タフロタン」、
「サフルタン」、「タプティコム」、「コソプト」、「トルソプト」、角結膜疾患治療剤
「アイケルビス」が市場に浸透しています。

アジア

円換算ベースで前年同期と比べ24.1%増加し、74億円となりました。

「ヒアレイン」、「クラビット」等主力品の普及促進活動の展開により、中国や韓国で着
実に成長するとともに、ベトナムやタイなどのアセアン諸国においても高い成長率を維持し
ています。

<一般用医薬品>

前年同期と比べ34.1%増加し、40億円となりました。

インバウンド需要の取り込みに加え、新「サンテメディカルシリーズ」、「ソフトサンティア
シリーズ」などの販売促進活動を展開しています。また、「サンテFXシリーズ」では、
2017年6月より人気アニメとのコラボレーション企画を開始しました。

(その他の事業)

<医療機器>

前年同期と比べ1.8%減少し、6億円となりました。

高屈折率のアクリル素材を光学部に用いたフォールダブル眼内レンズ「エタニティ」シリー
ズの普及促進活動に引き続き注力しています。

<その他>

その他の売上収益は1億円となりました。サプリメント製品の販売、株式会社クレール（連
結子会社）での無塵・無菌服のクリーニング業によるものです。

[コア営業利益]

売上総利益は、前年同期と比べ28億円増加し、344億円となりました。売上原価率は、前年同期
と比べ1.8ポイント増加し、38.6%となりました。

販売費及び一般管理費は、海外事業の拡大に伴い、前年同期と比べ10億円増加し、151億円とな
りました。

研究開発費は、前年同期と比べ5億円増加し、56億円となりました。

以上により、コアベースでの営業利益は、前年同期と比べ10.9%増加し、137億円となりまし
た。

(※) 参天製薬グループではIFRS適用を機に、IFRSによる業績（「IFRS（フル）ベース」）から一
部の収益および費用を控除した「コアベース」での財務情報を経常的な業績を示す指標とし
て開示しています。IFRS（フル）ベースによる業績からコアベースでの業績への調整におい
て控除する以下の収益および費用とそれらに係る法人所得税費用を調整し、コアベースを算
出しています。

- ・ 製品に係る無形資産償却費
- ・ その他の収益
- ・ その他の費用
- ・ 金融収益
- ・ 金融費用
- ・ 販売費及び一般管理費のうち企業買収に係る一過性費用

（イ）IFRS（フル）ベース

（単位：百万円）

	前第1四半期	当第1四半期	対前年同期増減率
売上収益	50,006	55,949	11.9%
営業利益	10,811	12,056	11.5%
四半期利益	7,323	8,915	21.7%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	7,323	8,920	21.8%

〔売上収益〕

コアベースからの調整はありません。

〔営業利益〕

売上総利益、販売費及び一般管理費、研究開発費について、コアベースからの調整はありません。

製品に係る無形資産償却費は、前年同期とほぼ同水準の17億円となりました。これは主に、米メルク社から2014年に譲受けた眼科製品に関する無形資産、ならびに2015年より欧州で販売を開始した「アイケルビス」に関する無形資産の償却によるものです。

その他の収益は、前年同期とほぼ同水準の1億円となり、その他の費用は、前年同期とほぼ同水準の1億円となりました。

これらにより、IFRS（フル）ベースの営業利益は、前年同期と比べ11.5%増加し、121億円となりました。

〔親会社の所有者に帰属する四半期利益〕

親会社の所有者に帰属する四半期利益は、前年同期と比べ21.8%増加し、89億円となりました。売上収益に対するその比率は、15.9%となりました。

② 研究開発活動

<緑内障・高眼圧症領域>

EP2受容体作動薬DE-117（一般名：オミデネパグ イソプロピル）は、米国で後期第Ⅱ相試験を終了し、日本では後期第Ⅱ/Ⅲ相試験を実施中です。アジアでは2016年12月に第Ⅲ相試験を開始しました。

FP/EP3受容体デュアル作動薬DE-126（一般名：sepetaprost）は、2017年7月に米国、日本にて後期第Ⅱ相試験を開始しました。

2016年8月に買収したInnFocus社の緑内障用デバイスInnFocus MicroShunt（DE-128）は、欧州におけるCEマークの承認を取得しており、FDA承認取得に向け、米国および欧州にて第Ⅱ/Ⅲ相試験を実施しています。

<角結膜疾患（ドライアイを含む）領域>

DE-089（一般名：ジクアホソルナトリウム）は、中国で輸入医薬品承認を申請中です。

Cyclokot（開発品名：シクロカット、一般名：シクロスポリン）は、アジアで順次販売承認を申請しており、2016年11月にタイで、2017年3月に韓国等で販売承認を取得しました。

Vekacia（開発品名：ベカシア、一般名：シクロスポリン）は、2016年12月に欧州で販売承認を申請し、2017年7月に欧州医薬品庁の医薬品評価委員会より承認勧告を取得しました。

<網膜・ぶどう膜疾患領域>

ぶどう膜炎を適応症とするDE-109（一般名：シロリムス）は、2017年2月に米国で販売承認を申請しました。欧州では販売承認申請を準備中です。

DE-122（一般名：carotuximab）は、滲出型加齢黄斑変性を対象に第Ⅰ/Ⅱ相試験を米国で実施中です。2017年7月に前期第Ⅱ相試験を開始しました。

（2）財政状態に関する説明

① 資産、資本及び負債の状況

当第1四半期末の資産は、前期末と比べ28億円増加し、3,256億円となりました。これは配当金および法人所得税等の支払いによる現金及び現金同等物の減少があったものの、売上収益の増加に伴い営業債権及びその他の債権が増加したことなどによるものです。

資本は、前期末と比べ68億円増加し、2,606億円となりました。これは利益剰余金およびその他の資本の構成要素の増加などによるものです。

負債は、前期末と比べ40億円減少し、649億円となりました。これはその他の金融負債および金融負債の減少などによるものです。

以上の結果、親会社所有者帰属持分比率は、前期末と比べ1.4ポイント増加し、79.8%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは、51億円の収入（前年同期は、143億円の支出）となりました。これは四半期利益が89億円、減価償却費及び償却費が27億円などありましたが、営業債権及びその他の債権の増加が57億円、法人所得税の支払いが28億円あったことなどによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、12億円の支出（前年同期は、41億円の支出）となりました。これは有形固定資産の取得による支出が7億円、無形資産の取得による支出が5億円あったことなどによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、75億円の支出（前年同期は、47億円の支出）となりました。これは配当金の支払いが52億円、長期借入金の返済による支出が23億円あったことなどによるものです。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第1四半期末残高は、前期末と比べ33億円減少し、490億円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期の業績は、概ね予定通り推移しており、2017年5月10日に公表した業績予想からの変更はございません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結純損益及びその他の包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)
売上収益	50,006	55,949
売上原価	△18,395	△21,581
売上総利益	31,611	34,367
販売費及び一般管理費	△14,100	△15,056
研究開発費	△5,158	△5,613
製品に係る無形資産償却費	△1,586	△1,656
その他の収益	110	83
その他の費用	△66	△69
営業利益	10,811	12,056
金融収益	427	451
金融費用	△985	△298
税引前四半期利益	10,253	12,209
法人所得税費用	△2,930	△3,294
四半期利益	7,323	8,915
その他の包括利益		
純損益に振り替えられない項目：		
確定給付制度の再測定	—	—
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動	△1,067	1,478
純損益に振り替えられる可能性のある項目：		
在外営業活動体の換算差額	△4,642	1,629
その他の包括利益	△5,710	3,107
四半期包括利益合計	1,613	12,022
四半期利益の帰属		
親会社の所有者持分	7,323	8,920
非支配持分	—	△5
四半期利益	7,323	8,915
四半期包括利益合計の帰属		
親会社の所有者持分	1,613	12,011
非支配持分	—	12
四半期包括利益合計	1,613	12,022
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益（円）	17.68	21.96
希薄化後1株当たり四半期利益（円）	17.61	21.88

※コアベース

売上収益	50,006	55,949
コア営業利益	12,353	13,698
コア四半期利益	8,762	9,991
基本的1株当たりコア四半期利益（円）	21.15	24.61
希薄化後1株当たりコア四半期利益（円）	21.07	24.52

コア四半期利益の帰属

親会社の所有者持分	8,762	9,996
非支配持分	—	△5
コア四半期利益	8,762	9,991

（2）要約四半期連結財政状態計算書

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2017年6月30日)
資産		
非流動資産		
有形固定資産	28,550	28,602
無形資産	102,807	101,974
金融資産	29,889	31,791
繰延税金資産	2,396	2,204
その他の非流動資産	2,124	2,255
非流動資産合計	165,767	166,825
流動資産		
棚卸資産	28,502	27,032
営業債権及びその他の債権	70,970	77,079
その他の金融資産	333	726
その他の流動資産	3,909	4,964
現金及び現金同等物	53,297	48,952
流動資産合計	157,011	158,752
資産合計	322,778	325,577

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2017年6月30日)
資本		
親会社の所有者に帰属する持分		
資本金	7,792	7,798
資本剰余金	8,417	8,423
自己株式	△10	△10
利益剰余金	223,418	227,059
その他の資本の構成要素	13,448	16,535
親会社の所有者に帰属する持分合計	253,065	259,805
非支配持分	819	831
資本合計	253,884	260,636
負債		
非流動負債		
金融負債	7,619	6,160
退職給付に係る負債	1,900	2,078
引当金	1,426	1,482
繰延税金負債	2,596	3,583
その他の非流動負債	1,919	1,352
非流動負債合計	15,460	14,654
流動負債		
営業債務及びその他の債務	23,937	23,728
その他の金融負債	17,603	14,746
未払法人所得税等	3,279	3,245
引当金	1,372	1,492
その他の流動負債	7,244	7,075
流動負債合計	53,434	50,287
負債合計	68,894	64,941
資本及び負債合計	322,778	325,577

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)

(単位:百万円)

	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素	
					確定給付制度の再測定	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動
2016年4月1日残高	7,695	8,389	△24	221,945	—	18,676
四半期包括利益						
四半期利益				7,323		
その他の包括利益						△1,067
四半期包括利益合計	—	—	—	7,323	—	△1,067
所有者との取引額						
新株の発行	12	12				
自己株式の取得			△0			
配当金				△5,384		
所有者との取引額合計	12	12	△0	△5,384	—	—
2016年6月30日残高	7,707	8,401	△24	223,884	—	17,609

	その他の資本の構成要素			親会社の所有者に帰属する持分合計	非支配持分	資本合計
	在外営業活動体の換算差額	新株予約権	合計			
2016年4月1日残高	2,611	716	22,003	260,009	—	260,009
四半期包括利益						
四半期利益			—	7,323		7,323
その他の包括利益	△4,642		△5,710	△5,710		△5,710
四半期包括利益合計	△4,642	—	△5,710	1,613	—	1,613
所有者との取引額						
新株の発行		△8	△8	16		16
自己株式の取得			—	△0		△0
配当金			—	△5,384		△5,384
所有者との取引額合計	—	△8	△8	△5,369	—	△5,369
2016年6月30日残高	△2,031	708	16,286	256,254	—	256,254

当第1四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)

(単位:百万円)

	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素	
					確定給付制度 の再測定	その他の包括 利益を通じて 公正価値で測 定する金融資 産の純変動
2017年4月1日残高	7,792	8,417	△10	223,418	—	9,470
四半期包括利益						
四半期利益				8,920		
その他の包括利益						1,478
四半期包括利益合計	—	—	—	8,920	—	1,478
所有者との取引額						
新株の発行	6	6				
自己株式の取得			△0			
配当金				△5,280		
その他				1		△1
所有者との取引額合計	6	6	△0	△5,279	—	△1
2017年6月30日残高	7,798	8,423	△10	227,059	—	10,947

	その他の資本の構成要素			親会社の所有 者に帰属する 持分合計	非支配持分	資本合計
	在外営業活動 体の換算差額	新株予約権	合計			
2017年4月1日残高	3,153	825	13,448	253,065	819	253,884
四半期包括利益						
四半期利益			—	8,920	△5	8,915
その他の包括利益	1,612		3,090	3,090	17	3,107
四半期包括利益合計	1,612	—	3,090	12,011	12	12,022
所有者との取引額						
新株の発行		△3	△3	10		10
自己株式の取得			—	△0		△0
配当金			—	△5,280		△5,280
その他			△1	—		—
所有者との取引額合計	—	△3	△4	△5,271	—	△5,271
2017年6月30日残高	4,765	823	16,535	259,805	831	260,636

（4）要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2016年4月1日 至 2016年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2017年4月1日 至 2017年6月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
四半期利益	7,323	8,915
減価償却費及び償却費	2,396	2,666
減損損失	12	37
金融収益及び金融費用（△は益）	△271	△288
法人所得税費用	2,930	3,294
営業債権及びその他の債権の増減（△は増加）	△4,033	△5,659
棚卸資産の増減（△は増加）	△1,471	1,905
営業債務及びその他の債務の増減（△は減少）	△3	△272
引当金及び退職給付に係る負債の増減（△は減少）	△93	237
その他	△1,282	△3,267
小計	5,507	7,567
利息の受取額	13	20
配当金の受取額	266	274
利息の支払額	△16	△9
法人所得税の支払額	△20,032	△2,777
営業活動によるキャッシュ・フロー	△14,262	5,075
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資の取得による支出	△111	△2
投資の売却による収入	—	2
有形固定資産の取得による支出	△1,601	△667
有形固定資産の売却による収入	2	—
無形資産の取得による支出	△2,392	△516
その他	△8	△7
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,111	△1,190
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	3,000	—
長期借入金の返済による支出	△2,412	△2,287
配当金の支払額	△5,279	△5,181
その他	19	9
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,672	△7,460
現金及び現金同等物の増減額	△23,044	△3,576
現金及び現金同等物の期首残高	99,798	52,282
現金及び現金同等物の為替変動による影響	△2,237	245
現金及び現金同等物の四半期末残高	74,516	48,952

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前第1四半期連結累計期間（自 2016年4月1日 至 2016年6月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	計	調整額	要約四半期 連結財務諸表	
	医薬品					
外部顧客への売上収益	49,258	748	50,006	—	50,006	
セグメント間の内部売上収益 又は振替高	—	141	141	△141	—	
計	49,258	890	50,147	△141	50,006	
セグメント利益又は損失(△) (注) 2	10,843	△32	10,811	—	10,811	
					金融収益	427
					金融費用	△985
					税引前四半期利益	10,253

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントで、医療機器事業などが含まれています。

2 セグメント利益又は損失は、営業利益ベースの数値です。

当第1四半期連結累計期間（自 2017年4月1日 至 2017年6月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	計	調整額	要約四半期 連結財務諸表	
	医薬品					
外部顧客への売上収益	55,220	728	55,949	—	55,949	
セグメント間の内部売上収益 又は振替高	—	186	186	△186	—	
計	55,220	914	56,135	△186	55,949	
セグメント利益又は損失(△) (注) 2	12,285	△229	12,056	—	12,056	
					金融収益	451
					金融費用	△298
					税引前四半期利益	12,209

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントで、医療機器事業などが含まれています。

2 セグメント利益又は損失は、営業利益ベースの数値です。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. 連結参考資料

(1) 主要製品売上収益

(単位: 百万円)

品目名 (有効成分・剤形)	薬効成分	地域	2017年3月期				2018年3月期			
			第1四半期 累計実績	対前年 伸長率	通期 実績	対前年 伸長率	第1四半期 累計実績	対前年 伸長率	通期 予想	対前年 伸長率
クラビット点眼液 (レボフロキサシン点眼液)	合成抗菌点眼剤	合計	3,459	△15.4%	12,884	△9.6%	3,746	8.3%	13,945	8.2%
		日本	1,334	△17.2%	4,660	△21.3%	1,175	△12.0%	4,308	△7.5%
		アジア 欧州	1,840 285	△12.1% △25.6%	6,980 1,245	△0.3% △6.5%	2,159 412	17.4% 44.4%	8,252 1,384	18.2% 11.2%
タリビッド点眼液 (オフロキサシン点眼液)	合成抗菌点眼剤	合計	424	△31.6%	1,541	△12.5%	473	11.8%	1,455	△5.6%
		日本	157	△15.5%	559	△16.9%	144	△8.0%	472	△15.6%
		アジア	267	△38.5%	982	△9.8%	329	23.4%	983	0.1%
タブコム配合点眼液 (タフルプロスト/ チモロールマレイン酸塩点眼液)	緑内障治療剤	合計	632	106.0%	2,798	82.4%	925	46.4%	3,800	35.8%
		日本	560	117.2%	2,256	63.4%	646	15.4%	2,587	14.6%
		アジア 欧州	5 67	- 36.5%	38 504	- 229.3%	26 252	417.8% 278.4%	90 1,124	137.1% 122.9%
タブロス点眼液 (タフルプロスト点眼液)	緑内障治療剤	合計	4,151	12.3%	16,406	4.9%	4,521	8.9%	18,115	10.4%
		日本	2,524	10.2%	9,592	4.6%	2,524	0.0%	10,489	9.3%
		アジア	313	17.3%	1,227	11.8%	411	31.4%	1,613	31.5%
		欧州 その他	1,314 -	15.4% -	5,587 -	4.1% -	1,586 -	20.6% -	5,985 28	7.1% -
コソプト配合点眼液 (ドルゾラミド塩酸塩/ チモロールマレイン酸塩点眼液)	緑内障治療剤	合計	5,943	27.4%	22,164	7.7%	6,152	3.5%	23,013	3.8%
		日本	3,054	7.7%	11,366	1.4%	3,004	△1.6%	11,468	0.9%
		アジア	704	5.7%	2,669	7.1%	796	13.1%	2,913	9.1%
		欧州 その他	2,185 -	87.6% -	8,122 6	18.1% -	2,352 -	7.7% -	8,476 156	4.4% -
チモプトール点眼液 (チモロールマレイン酸塩点眼液)	緑内障治療剤	合計	453	△6.1%	1,509	△21.8%	402	△11.3%	1,430	△5.2%
		日本	281	△15.2%	967	△18.1%	231	△17.5%	853	△11.8%
		アジア 欧州	31 142	△15.8% 23.3%	119 422	△14.8% △30.6%	28 142	△7.4% 0.1%	182 395	52.3% △6.2%
チモプトールXE点眼液 (チモロールマレイン酸塩持続性点眼液)	緑内障治療剤	合計	618	△4.8%	2,382	△3.3%	602	△2.6%	2,179	△8.5%
		日本	459	△10.0%	1,614	△14.4%	392	△14.7%	1,450	△10.2%
		アジア 欧州 その他	23 136 -	1.3% 16.7% -	88 679 9	0.8% 38.8% -	26 184 2	14.0% 35.4% -	42 687 36	△52.4% 1.1% 298.4%
トルソプト点眼液 (ドルゾラミド塩酸塩点眼液)	緑内障治療剤	合計	1,135	9.1%	4,343	△4.8%	1,189	4.8%	3,906	△10.1%
		日本	477	△17.3%	1,731	△18.6%	448	△6.1%	1,396	△19.3%
		アジア	69	△52.1%	271	△39.3%	78	12.9%	280	3.3%
		欧州 その他	588 -	84.5% -	2,333 9	17.2% -	662 2	12.4% -	2,194 36	△6.0% 298.4%
レスキュラ点眼液 (イソプロピルウブロストン点眼液)	緑内障治療剤	合計	458	△5.7%	1,633	△11.5%	403	△12.0%	1,641	0.5%
		日本	458	△5.7%	1,633	△11.5%	403	△12.0%	1,641	0.5%
アレジオン点眼液 (エビナスチン塩酸塩点眼液)	抗アレルギー点眼剤	合計	2,034	72.0%	12,235	29.0%	2,666	31.1%	14,926	22.0%
		日本	2,034	72.0%	12,235	29.0%	2,666	31.1%	14,926	22.0%
フルメトロン点眼液 (フルオロメトロン点眼液)	抗炎症点眼剤	合計	860	△7.1%	3,347	△11.3%	901	4.8%	3,425	2.3%
		日本	561	△9.1%	2,224	△16.2%	544	△3.1%	2,123	△4.5%
アジア	299	△3.2%	1,123	0.3%	358	19.5%	1,302	15.9%		
カリユニ点眼液 (ピレノキシ点眼液)	老人性白内障治療剤	合計	1,057	△3.9%	4,124	△1.5%	1,222	15.7%	4,439	7.7%
		日本	766	3.7%	2,833	△2.3%	734	△4.2%	2,776	△2.0%
アジア	291	△19.4%	1,291	0.3%	489	68.2%	1,663	28.8%		
オパガンハイ眼粘弾剤 (ヒアルロン酸ナトリウム眼科手術補助剤)	眼科手術補助剤	合計	630	△5.6%	2,285	△11.0%	621	△1.5%	2,288	0.1%
		日本	630	△5.6%	2,285	△11.0%	621	△1.5%	2,288	0.1%
アイリーア硝子体内注射液 (アフリバルセプト(遺伝子組換え) 硝子体内注射液)	眼科用VEGF阻害剤	合計	11,894	32.1%	45,155	12.9%	13,107	10.2%	46,199	2.3%
		日本	11,894	32.1%	45,155	12.9%	13,107	10.2%	46,199	2.3%
ヒアレイン点眼液 (ヒアルロン酸ナトリウム点眼液)	角結膜疾患治療剤	合計	4,763	△7.6%	17,595	△11.4%	4,709	△1.1%	17,483	△0.6%
		日本	3,267	△14.0%	11,852	△18.2%	2,993	△8.4%	10,743	△9.4%
アジア	1,496	10.1%	5,743	6.9%	1,717	14.7%	6,740	17.4%		
ジクアス点眼液 (ジクアホソルナトリウム点眼液)	角結膜疾患治療剤	合計	2,918	29.1%	11,940	24.0%	3,511	20.3%	14,574	22.1%
		日本	2,684	28.7%	11,016	24.1%	3,189	18.8%	12,642	14.8%
アジア	234	34.5%	924	23.1%	322	37.7%	1,932	109.0%		
Ikervis(アイケルビス) (シクロスポリン点眼液)	角結膜疾患治療剤	合計	164	-	1,303	73.5%	479	191.8%	2,344	79.9%
		アジア	-	-	2	-	2	-	64	-
		欧州	164	-	1,301	73.2%	478	190.9%	2,226	71.1%
		北米 その他	- -	- -	- -	- -	- -	- -	49 6	- -
Cationorm(カチオノーム)	角結膜疾患治療剤	合計	321	34.2%	1,835	26.3%	503	56.6%	2,587	41.0%
		アジア	28	19.3%	206	23.4%	62	118.0%	344	67.0%
		欧州	291	34.8%	1,318	28.1%	389	33.6%	1,894	43.7%
		北米 その他	- 2	- -	280 31	15.7% 114.9%	51 2	- △5.2%	287 62	2.4% 101.7%
一般用医薬品			2,967	24.4%	12,553	14.1%	3,980	34.1%	12,900	2.8%

(単位: 円)

主要通貨 為替換算レート	通貨	2017年3月期 第1四半期	2017年3月期	2018年3月期 第1四半期	2018年3月期(予想)
	米ドル	108.83	108.64	111.33	110.00
	ユーロ	122.53	118.96	122.95	120.00
	中国元	16.63	16.14	16.22	16.50

※上記の予想等は、現在において入手可能な情報に基づいて作成しています。実際の業績等は、事業環境変化などにより、大きく結果が異なる可能性があります。

（2）医薬品開発状況

※2017年8月1日現在

■医薬品開発状況一覧表（臨床段階）

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
ジクアホソルナトリウム	DE-089	ドライアイ	Merck Sharp & Dohme Corp. (米国)	中国	2012年1月					
角結膜上皮からムチンや水分の分泌を促すドライアイ治療剤。既存薬と異なる作用機序を持つ。2010年12月、日本で発売。2012年1月、中国で輸入医薬品承認を申請。2013年10月に韓国、2016年2月にベトナム、2016年4月にタイで発売。アジアで順次販売承認を申請。										
シロリムス	DE-109	ぶどう膜炎	自社	米国	2017年2月					
				日本						
				欧州						
				アジア	2015年4月					
免疫抑制作用、血管新生抑制作用などを有する硝子体内注射剤。2017年2月、米国で販売承認を申請。欧州で販売承認申請を準備中。2015年4月、アジアで販売承認を申請。										
エピナスチン塩酸塩	DE-114A	アレルギー性結膜炎	日本ベーリンガーインゲルハイム	日本						
H ₁ 拮抗作用と膜安定化作用を併せ持つアレルギー性結膜炎治療剤。高用量製剤。2017年5月、日本でフェーズ3試験を開始。										
オミデネパグイソプロピル	DE-117	緑内障・高眼圧症	宇部興産と共同開発	米国						
				日本	(フェーズ2b/3)					
				アジア						
新規メカニズムのEP2受容体作動薬。2015年2月、米国でフェーズ2b試験を終了。2015年12月、日本でフェーズ2b/3試験を開始。2016年12月、アジアでフェーズ3試験を開始。										
carotuximab	DE-122	滲出型加齢黄斑変性	TRACON社	米国	(フェーズ2a)					
抗エンドグリン抗体の硝子体内注射剤。2015年9月、米国でフェーズ1/2試験を開始。2017年7月、フェーズ2a試験を開始。										
sepetaprost	DE-126	緑内障・高眼圧症	小野薬品工業	米国	(フェーズ2b)					
				日本	(フェーズ2b)					
FP受容体およびEP3受容体への作動作用（デュアル作動薬）を有する新規メカニズムのプロスタグランジン誘導体の緑内障・高眼圧症治療剤。2017年7月、米国、日本にてフェーズ2b試験を開始。										
—	DE-128 (InnFocus MicroShunt)	緑内障	自社	米国	(フェーズ2/3)					
				欧州						
2016年8月、InnFocus MicroShuntを開発するInnFocus社を買収。原発開放隅角緑内障における眼圧下降を目的とし、房水の流出を促すインプラント手術用デバイス。										
シクロスポリン	Cyclokot	ドライアイに伴う重度の角膜炎	自社	米国						
				アジア	2016年11月					
				その他	2016年4月					
免疫抑制作用により、ドライアイに伴う重度の角膜炎を改善する乳化点眼剤。カチオン性製剤技術により組織移行性を高めた製剤。2015年7月以降、ドイツおよびイギリス等、欧州で順次発売。アジアで順次販売承認を申請しており、2016年11月、タイで、2017年3月、韓国等で販売承認を取得。2016年4月、カナダで販売承認を申請。										

一般名	開発品名	効能・効果	自社/導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
シクロスポリン	Vekacia	春季カタル	自社	欧州				2016年12月		
免疫抑制作用により、春季カタルの症状を改善する乳化点眼剤。カチオニック製剤技術により組織移行性を高めた製剤。2016年12月、欧州で販売承認を申請し、優先審査指定を取得。2017年7月に欧州医薬品庁の医薬品評価委員会より承認勧告を取得。										

一般名	開発品名	効能・効果	自社/導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
ラタノプロスト	Catioprost	緑内障・高眼圧症	自社	欧州						
プロスタグランジンF ₂ α誘導体の緑内障・高眼圧症治療用乳化点眼剤。										

■2016年度第4四半期決算発表時（2017年5月10日）からの変更点

開発コード / 品名	変更点
DE-114A	2017年5月、日本でフェーズ3試験を開始。

(3) 設備投資、減価償却費及び償却費、製品に係る無形資産償却費ならびに研究開発費

■設備投資

(単位：百万円)

	2017年3月期		2018年3月期	
	第1四半期 累計実績	通期実績	第1四半期 累計実績	通期見込
設備投資額	1,555	5,216	974	7,660

■減価償却費及び償却費

(単位：百万円)

	2017年3月期		2018年3月期	
	第1四半期 累計実績	通期実績	第1四半期 累計実績	通期見込
総額	810	3,470	1,011	3,830
製造経費	368	1,515	470	1,880
販売管理費	281	1,246	357	1,270
研究開発費	161	709	184	680

(注) 製品に係る無形資産償却費および長期前払費用の償却費は除いています。

■製品に係る無形資産償却費

(単位：百万円)

	2017年3月期		2018年3月期	
	第1四半期 累計実績	通期実績	第1四半期 累計実績	通期見込
総額	1,586	6,412	1,656	6,620
メルク無形資産償却費	1,318	5,357	1,380	5,590
アイケルビス無形資産償却費	174	674	174	680
その他	94	381	102	350

■研究開発費

(単位：百万円)

	2017年3月期		2018年3月期	
	第1四半期 累計実績	通期実績	第1四半期 累計実績	通期見込
研究開発費	5,158	22,786	5,613	25,000
対売上収益比	10.3%	11.4%	10.0%	11.5%

※上記の予想等は、現在において入手可能な情報に基づいて作成しています。実際の業績等は、事業環境変化などにより、大きく結果が異なる可能性があります。